

別紙

## 平成24年度 美里町政策評価に係る施策反映状況等報告書

担当課名	子ども家庭課
記入者職氏名（内線）	課長補佐 櫻井 英治（内線 91-1631）

経過		
区分	開催日時	開催場所
全体会	平成24年10月31日	宮城大学 地域連携センター
分野別	平成24年11月8日	美里町役場 本庁舎
全体会	平成24年12月21日	美里町役場 本庁舎

評価の内容
別紙：「美里町政策評価委員会 評価報告書」のとおり

評価結果の施策反映（今後の取組み）状況
<b>【施策反映の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て支援政策として、待機児童の「いつでもゼロ」を目指す。</li><li>・喫緊の待機児童対策として、小牛田保育所分園の増室対策を講じる。</li><li>・今後、想定される待機児童対策として、「子ども・子育て支援事業計画」の策定を通じ保育所及び幼稚園の整理付けを行い、抜本的な対策を講じる。</li><li>・待機児童に係るセーフティネット機能として、「保育ママ制度」の導入について、引き続き検討するとともに、保育サービスのニーズ把握のためアンケート調査を早急を実施する。</li></ul>
<b>【事務事業再編(案)への反映状況】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・小牛田保育所分園の増室工事を新規に追加する。</li><li>・「(仮称) 子ども・子育て支援事業計画策定事業」を新規に追加する。</li></ul>
<b>【評価委員及び宮城大学との連携要望及び予定】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・評価担当委員である塩野委員から、引き続きアンケート調査の結果分析等への指導・助言を頂く予定</li><li>・「(仮称) 子ども・子育て支援事業計画策定事業」において、委員就任を要望</li></ul>

注) 原則として、一つの「施策毎」に作成すること。ただし、関連する複数の「施策」をまとめて作成、又は「政策」を単位として作成も可

別紙

## 平成24年度 美里町政策評価に係る施策反映(予定)状況報告書

担当課名	産業振興課
記入者職氏名(内線)	主幹兼係長 繁泉久弥(内線: 93-1121)

経過		
区分	開催日時	開催場所
全体会	平成24年10月31日	宮城大学 地域連携センター
分野別	平成24年11月19日	美里町役場 南郷庁舎
全体会	平成24年12月21日	美里町役場 本庁舎

評価の内容
別紙:「美里町政策評価委員会 評価報告書」のとおり。

評価結果の施策反映(今後の取組み)状況
<p><b>【施策反映の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>両施策とも展開手法及び事務事業の再編状況については、特に問題はない。再編した事務事業の着実な展開が必要であるとの評価意見である。</li><li>6次産業化に向けたコーディネート機能の構築と充実については、事業実施の進展に併せ検討していくこととする。</li></ul>
<p><b>【事務事業再編(案)への反映状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>施策34の中の直播栽培拡大事業を削除 直播栽培の実績等から、慣行栽培と同等の所得の確保、栽培技術の確立が図られてきているため、また、県補助事業等の対象要件にも機械導入がそぐわなくなっているため、町の助成は行わない。しかしながら、取組拡大については関係機関とともに推進していく。</li><li>施策35の中のアグリビジネスセミナー事業を削除 6次産業化総合支援事業と併せて推進する。</li><li>施策35の中のブランド活性化支援事業を削除 展開手法を再度精査した後に対応していく。6次産業化総合支援事業及び関連施策である施策41の観光物産振興事業と併せて推進していくこととする。</li></ul>

**【評価委員及び宮城大学との連携要望及び予定】**

- ・ 宮城大学食産業学部からのインターンシップの受入れを要望
- ・ 農作物等のブランド化について、連携を要望

注) 原則として、一つの「施策毎」に作成すること。ただし、関連する複数の「施策」をまとめて作成、又は「政策」を単位として作成も可

別紙

## 平成24年度 美里町政策評価に係る施策反映(予定)状況報告書

担当課名	産業振興課（商工観光室）
記入者職氏名（内線）	補佐 佐々木 さとみ（内線：93-1672）

経 過		
区分	開催日時	開催場所
全体会	平成24年10月31日	宮城大学 地域連携センター
分野別	平成24年11月19日	美里町役場 南郷庁舎
全体会	平成24年12月21日	美里町役場 本庁舎

評価の内容
別紙：「美里町政策評価委員会 評価報告書」のとおり。

評価結果の施策反映（今後の取組み）状況
<b>【施策反映の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 商業・サービス業の振興については、一步踏み込んだ事業展開が必要であるとの指摘を受けた。また、工業の振興については、企業立地の具体的な行動が見えないとの指摘を受けた。</li><li>・ 商業・サービス業の振興については、商店街の活性化に向けたビジョンの欠如が指摘されたところである。主要団体である商工会の意向を踏まえながら、具体的な取組み検討する。</li></ul>
<b>【事務事業再編(案)への反映状況】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 変更なし</li></ul> ※商工会支援事業を通じ、事業要件に規制的手法を加味した施策誘導を検討する。
<b>【評価委員及び宮城大学との連携要望及び予定】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業展開方法について、西川委員から引き続き指導・助言を頂く予定</li><li>・ 商店街活性化プランニングについて、連携を要望</li></ul>

注) 原則として、一つの「施策毎」に作成すること。ただし、関連する複数の「施策」をまとめて作成、又は「政策」を単位として作成も可

別紙

## 平成24年度 美里町政策評価に係る施策反映状況等報告書

担当課名	まちづくり推進課
記入者職氏名（内線）	課長 武田 啓一 （1230）

経 過		
区分	開催日時	開催場所
全体会	平成24年10月31日	宮城大学 地域連携センター
分野別	平成24年11月12日	美里町公民館
分野別	平成24年12月18日	宮城大学 地域連携センター
全体会	平成24年12月21日	美里町役場本庁舎

評価の内容
別紙：「美里町政策評価委員会 評価報告書」のとおり

評価結果の施策反映（今後の取組み）状況
<p><b>【施策反映の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・住民活動の推進については、地域の現状分析の上に立った意識づくり、機運づくりのための意識啓発を進める。</li><li>・「みさと地域活動サポートセンター」については、そのあるべき方向性を見定め、地域と行政をつなぐ機能や役割を発揮できるような事業の展開を支援していく。</li><li>・評価報告書の中の多くのご意見・提言については、生涯学習事業と一体となった取り組みをもって進める。</li><li>・生涯学習振興計画の見直しにおいては、地域づくりの基盤となる人材育成や地域課題解決の学習等を包含したものとし、生涯学習を通じた住民活動の推進を図る。</li></ul>
<p><b>【事務事業再編(案)への反映状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・変更なし</li></ul>
<p><b>【評価委員及び宮城大学との連携要望及び予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・住民活動の活性化や住民主体のまちづくりを推進するための新たな制度設計、計画策定等について、古川委員から引き続き指導・助言をいただく。</li></ul>

注) 原則として、一つの「施策毎」に作成すること。ただし、関連する複数の「施策」をまとめて作成、又は「政策」を単位として作成も可

別紙

## 平成24年度 美里町政策評価に係る施策反映状況等報告書

担当課名	企画財政課
記入者職氏名（内線）	係長 小林誠樹（内線 91-1246）

経過		
区分	開催日時	開催場所
全体会	平成24年10月31日	宮城大学 地域連携センター
分野別	平成24年11月19日	宮城大学 事業構想学部
全体会	平成24年12月21日	美里町役場 本庁舎

評価の内容
別紙：「美里町政策評価委員会 評価報告書」のとおり。

評価結果の施策反映（今後の取組み）状況
<p><b>【施策反映の概要】</b></p> <p>評価意見のとおり、政策・施策の推進に当たっては、細分化された事務事業が単体で展開する傾向が強く、事業間連携や部署間連携が弱い傾向にあった。このことから、平成24年度においては、人口推計ツールの提供や分野別計画の策定調整、施策別の予算編成などに取り組むとともに政策形成過程の充実を図るため、サマーレビュー（夏季政策協議）の導入を試みたところである。</p> <p>今後は、評価意見を踏まえた中で、特に、サマーレビューを通じた政策形成過程の内容改善に取り組む、組織横断的な課題把握と課題解決、組織横断的な政策形成を強く意識するよう職員の意識付けを図る。</p> <p>なお、総合計画には、施策・組織を横断する、いわゆる主要プロジェクトの取扱いがないことが、連携不足が生じる原因とも考えられることから、次期総合計画の策定において、構造上の課題解消を図る。</p>
<p><b>【事務事業再編(案)への反映状況】</b></p> <p>・事務事業としての変更はなし。</p>
<p><b>【評価委員及び宮城大学との連携要望及び予定】</b></p>

注) 原則として、一つの「施策毎」に作成すること。ただし、関連する複数の「施策」をまとめて作成、又は「政策」を単位として作成も可

別紙

## 平成24年度 美里町政策評価に係る施策反映状況等報告書

担当課名	企画財政課
記入者職氏名（内線）	課長補佐 佐々木義則（内線 91-1241）

経過		
区分	開催日時	開催場所
全体会	平成24年10月31日	宮城大学 地域連携センター
分野別	平成24年11月19日	宮城大学 事業構想学部
全体会	平成24年12月21日	美里町役場 本庁舎

評価の内容
別紙：「美里町政策評価委員会 評価報告書」のとおり。

評価結果の施策反映（今後の取組み）状況
<p><b>【施策反映の概要】</b></p> <p>評価意見のとおり、財政環境が今後厳しくなることは財政推計から明らかである。そのため、第2次財政健全化計画の作成に当たっては、今後の厳しい財政環境とその対策の重要性に基軸を置いた。計画では「将来の財政負担の軽減」を今後3年間の財政ミッションとして、また、その成果を今後の評価指標としている。将来の厳しい財政環境に備え、財政負担をできるだけ軽減するよう、一層の財政努力（歳出の引締め）と計画的な財政運営に努める。</p> <p>また、評価意見にもあるように、自主財源の確保は重要な財政課題である。今後は、中長期的な政策として若年層の定住化や地域の活性化から自主財源の確保に努めていくが、一方では、依存財源を有効に活用して将来の町の財政負担の軽減化を図ることも有効な対策と考える。中長期的な需要と支出の見通しをもとに、国家政策や経済状況等の時々々の周囲環境を見ながら、依存財源の有効活用を即時的かつ計画的に進めていく。</p>
<p><b>【事務事業再編(案)への反映状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事務事業としての変更はなし。</li></ul>
<p><b>【評価委員及び宮城大学との連携要望及び予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合計画の策定と連携し、中長期的視点のもと財政計画の策定に向けて指導助言を頂く予定</li></ul>

注) 原則として、一つの「施策毎」に作成すること。ただし、関連する複数の「施策」をまとめて作成、又は「政策」を単位として作成も可